

三月五日

常 報 日 新 聞

定価 一紙全紙... 電話 三三〇番

発行所 常報日新聞社
 印刷所 常報日新聞社
 印刷機 日新印刷機

家庭教育と母

千葉 右近

(3)

世の中に苦しみは多い、就職の苦しみ、生活難の苦しみ、義理人情に伴ふ苦しみ等可なり多し。だが自分の子供ならその子供を育てると云ふ事は並大抵な苦しみではない。

自分の血を分けた子供でなければ迎へ得ない最大の苦しみがある。しかし又この最大の苦しみの中に他人の知り得ない無限の喜びの潜んで居ることも否定することは出来ない。

いんや、苦しみ育てた子供が所謂一人前の人間になり商人として一日幾らかの利益を得て一母さん今日儲けは一圓二十銭ありますよ」と茶ぶたいの上に並べられた時の心の喜び、俸給取りとなつた子供が二十一日に「これが初めての月俸です」と持ち歸つた時の親の嬉しさこれこそ天にも地にも外に求め得ない喜びではあるまいか。

まして子供が人様から賞められ、社会から尊敬される立場になつた親の喜びは自分の名譽も財産も放り出して苦しくない嬉しさで

はあるまいか。

肉弾三勇士の如く感謝される子を持つ親、全國民から熱狂的な歓迎裡に凱旋された多門將軍を生める母、九千萬の國民から絶大の信頼と後援とを受けられた松岡代表を育てた母堂等、何物にも換へ得ない喜びを持つて居らるゝではあるまいか。

世の母親よ、父親よ。子供の將來を輕卒に決定してしまつてはならぬ。

キリストの母も、正成の母も、オ臣の父も、大將の父も其の子供時代に將來自分の子供が大忠臣となることも大臣となることも大將となることも恐らく想像さし得なかつたであらう。

同様に貴方方の子供が將來何になるか神より外に知るものはない。母として父としての務は子供に對してはあくまで信頼、眞實な愛を注ぎ子供のために自分を忘れ限りなき犠牲を拂ふことである。

苦しみを拂へば拂ふ程やがて子供より得る樂しきものと喜びが増大して來ること忘れてはならぬ。だが子供からの喜びをあてにして法則は嚴然として存在して居ることは確である。

子供を育てる苦しみに



病身賦

緒方 一也

離れ小島に
 若さを病めば
 こころも寂しいものか
 こころも胸は痛むものか
 すべない命よ
 わが窓よ

離れ小島に
 若さを病めば
 はかなき事のみ身をせめ
 る秋の落葉に
 私のすべてが秘んである
 のか

海の彼方に
 幸は住むといふ
 ささやくものは波かしら
 病葉を散らす黄昏の雨か
 しら

離れ小島に
 若さを病めば
 こころも寂しいものか
 こころも胸は痛むものか
 くめども盡さぬわが涙
 わが想ひ

齒科口腔外科 レントゲン科

院長 原 精一

原齒科醫院

喜多流 謠曲と仕舞の お稽古をお奨め致します

平町田町六九
 入會隨時
 電話一二七番

喜多流 仕舞 白土會

電話一二七番

外科 内臓外科 X光線科 院長 安齋 徹

産婦人科 醫學士 黒澤 廣

△入院隨意△
 平町田町
 安齋 醫院
 電話四七五

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科
 平町田町 電話五二三番

御會葬御禮

昭和十一年三月五日

鈴木彌太郎
 外親戚一同

母イセ儀病氣之處療養相不叶三月五日午前一時死去致し候間此段以紙上辱知諸彦に御通知申上候
 追而來る七日午後二時自宅出棺九品寺に於て佛式に依り葬儀執行仕候
 昭和十一年三月五日

諸橋敬一郎
 諸橋 武
 諸橋久太郎
 山下芳明

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい

直に家政婦派出します

親切 料金は極めて低廉で
 妊産婦の御家庭 お留守 居番
 御病人の付添 年寄やお子さんの付添
 炊事や雜用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話三三番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

教育總監西大將は

幼時平町に學んだ

榮進を喜ぶ第一小學校

講堂に揮毫の書

肅軍の重職たる陸軍教育總監に榮進した西義一大將は、わが福島縣の生んだ天下に誇る武人の一人であるが、將軍は舊會津藩士西忠義氏の長男で同氏が明治廿一年頃北海道廳勤務の間約二年程平町の親戚の家より第一小學校の前身たる平小學校に學んだ事があり、次いで安積中學、陸軍士官學校を経て剛毅果敢な典型的の武人であるが、教育總監の報せに喜んだ第一小學校では早速篠山校長が生徒職員を代表して牛込區河田町の私邸宛「閣下の御榮進を祝す」との祝電を發し、かつ朝禮の際には大將に關する訓話を生徒一同に聞かせた、尙當時の同級生としては現町議坂本隆藏氏、柏原眞吾、木澤常松氏其他澤山あり現在平第一校講堂に掲げてある『至誠通天』の額は將軍の揮毫によるものである

町村に申告書を配布したが同申告書を怠ると扶養家族に對する控除や生命保険料の控除等が出來なくなるから期日迄に必ず申告せられたいと

第一方面教育 石城郡第一方面教育會は三日午前九時より植田小學校で開催東京高師教諭小池藤八氏の講演あり午後四時閉會した

郡下の郵貯額は

縣内で最高

東北でも一二を競ふ金額が一千萬に近い

逓信省が調査した九年度全國郵便局の貯金高を見ると平局の貯金人員は二萬五千四百九十八人、金額三百二十萬四千八百八圓で縣内ではは實に九百五十七萬五千三百

郡山、若松を遙かに凌駕して福島の三百五十九萬に次ぎ郡下各局の總額は人員十萬八千四百七十七人、貯金額は實に九百五十七萬五千三百

郡下冷害村の對策施設協議

石城郡下冷害村の凶作對策施設協議會は六日午前十時から平町團體事務所で開く積中學を十三對十二で敗りベスト、フオアとして東北大會へ駒を進め第一回戦に米澤中學を粉砕し友軍の福師と同志討ちに惜しくも甲子園行の斷念を餘儀なくさせられたナインの三分二を送り出す譯である

(投手)石川福太郎(捕手)佐藤健治(遊撃)上坂昇(左翼)草野泰昌(中堅)阿部順吉(右翼)柳澤 郎(遊撃部)平商と共に全

新課税の内容説明

昭和十一年度より縣は賦課徴收規定改正に依り新に備人税、ピアノ税、オルガン税、蓄音器税の四項目を設定、課税することになつたが課税の内容左の如くである

一、備人税は家事を専門に従事する僕婢を雇傭するものに賦課するもので年齢十五才未滿若は六十年以上又は不具癡疾者の僕婢は除かれる

二、ピアノ、オルガン、蓄音器税は廻轉盤面七吋以下又は盲人の所有する蓄音器には課税を除く

百九十三圓で一千萬圓に近い巨額を示し縣内最高は勿論東北で一二を競ふ豪勢である

植田牛馬組合

植田町牛馬商組合は十五日午前九時より植田學樓上に春季總會を開き十年度決算及役員改選を行ふ

無盡協會總會

本縣無盡協會定期總會は来る十三日午前十時から平第三小學校で開催、終つて磐城セメント會社を視察する

シネマ週報

△平 館 日活時代劇 澤田清 尾上菊太郎主演
「維新三劍士」朝日ニュース 日活現代劇團演二星玲子主演、全聲聲「緑の地平線」日活時代劇河原崎長十郎主演「街の入墨者」

△世界館 松竹ニュース
松竹現代劇藤松正太郎主演「輝け少〇日本」松竹時代劇サウンド版高田浩吉主演「やくざの掟」新興時代劇霧立のぼる 立松晃主演「花嫁學校」

平町人事

△四軒町二一中島正雄氏四男正久さん
△南町七二當時東京市荒川区尾久町九丁目二千零八

十八齋藤竹次郎氏四男力さん
△東京市澁野川區昭和町一丁目三十一秋元市太郎氏(四三)杉平二〇野木キヨさん(三四)

皆様の足?

尼子タクシーへも豆タクが入りました
御支關から支關へ 迅速簡便
是非御利用を
市内 三〇錢
市外 四割引

流線型セダン 大型貸切バス

宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします
平町二丁目

尼子自動車商會

電話六四〇番

所得税の申告受付

平稅務署では本年度第三種所得額の申告を來る十五日迄受付けるので今回管内

高月臺 若草が水色に燃え擴つて、希望の輝く若鳥が朗らかに霞の世界に歌へ始める今日此頃、來る八日五年の星霜の想出を胸に若き野望に漲つて高月臺に別れ

胸轟かして 築立つ若人
警中の各部選手が 残した足跡を檢討

を告げる警中健兒の中傳統を誇る野球、庭球、水泳其他各部の若き選手の輝かしい戦績を再檢討してみやう

△野球部 縣下大會に保原中を十二〇、強豪安

國大會の優勝候補と噂さるに違はず堂々神宮府縣對抗試合に優勝、縣下大會北日本選手權大會には決勝に残り依然「警中は強」と推獎され、築立つ部員は副將四年篠原君を残し左の三君である

(大將組)宮川登 大谷徳男(副將前衛)水野清八
△美術部(X會) 母校創立四十を迎へ記念綜合展を開催、美術の殿堂を飾りあげたこと此の部

員の最も幸福な思出である
箱崎彰(美友會賞)鈴木謙司 小林虎治 小沼武中澤登 川島正己
△水泳部 水の王者を自指し精進に精進を續け乍ら惜しくも水高主催近縣大會と二高主催關東北大會に共に決勝に敗れ偉業半ばを母校を築立つ三君自由型若松正 繼泳佐藤利夫 自由型小金森卓衛

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場

平・田町
レストサロン
電話二五二番

賭博に負けて

血塗れの大喧嘩

手斧で相手に瀕死の重傷

四日午後五時半頃内郷村大字宮字竹之内七二坑夫渡邊勝秀(三)は知り合ひの小名濱川字西町魚行商渡邊大吉(三)と同村大字宮字平太郎(三)と同居耕作方で飲酒中居合した同村飯島某と大吉が些細なことから喧嘩を始めたのを勝秀が仲裁に入つた處大吉が仲裁人の勝秀の頭部を毆打したのに激昂、自宅に戻つて作業用の手斧を持ち来り大吉の左こめがみ

を一撃、瀕死の重傷を負はせし署員に検挙された。尚同人等は事件真相まで前記吉田耕作方、飯島某を加へる三名を花賭博を開張、終つて飲酒したもので賭博に負けた勝秀は毆ぐられてかつとなつた結果の忍傷らしく殺人未遂となるか何うか平署は慎重に調査中であるが飯島は事件発生と同時に姿を晦ました。

投炭競技に優勝

平機關庫の誇り

既報水戸運輸事務所管内の平、水戸大字三機關庫選抜機關手二十名の投炭競技は去る二、三兩日平機關庫で行はれたが平庫選手の技術は頗る優秀で團體競技に優勝し更に個人競技に於いて一等及び三等を獲得した個人競技の入賞者左の如くである。

昇段剣客

郡下の氏名

過般平署で執行した大日本武徳會福島支部主催の剣道昇段試合の結果昇格した郡内の剣客左の如し

- △三段 栗城映(好間)齋藤真正(平)室井誠吾(渡邊温(平署)桐原英純(平)大友能一(赤井)齋藤貞信(平)
- △二段 伊達頼弘 柴田

卒業生判定

平商の打合

平商業学校では明日(六)日午後



今晩は晴明日も同様

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「早春のこん虫」大町文衛
- 後六、二五 趣味講座「現代建築學より見た茶室」武田五一
- 後七、三〇 農家の時間
- (農作物品種改良の知識)寺尾博
- 後八、〇〇 常磐津「若木

主婦の演藝會

植田信用組合の強調週間は六日同町小學校に家族慰安デーを開き主婦連の演藝會が開かれる。

飯野の不審火

飯野村大字上高久農鈴木寅松方庭先に積んであつた藁から三日午後九時頃噴火、大事に至らず消し止めたが平署では放火か或は同所附近で秘かに遊んでゐた者の煙草の不始末と睨んで取調べ中

磐中の五年生が

海外へ派遣される

東亞同文書院の留學生に

東亞同文書院並にハルビン學院より海外へ派遣される昭和十一年度留學生の本縣割當二名に就いて過般來縣教育課で志願者十三名中より嚴選の結果磐城中學校五年生高橋龍夫君に決定した。因に同君は泉村出身クラス切つての秀才で来月早々全

田舎娘が

レビニュー志願

植田町大字高倉字鶴巻正木秀吉二女(みづ)同八幡通り八代や三女と(みづ)

二月中の平町物價

木炭が高値

平町二月中の日用品小賣相場は左記の如くであるが一月中と比較して大差なく木炭類が降雪の關係で一貫匁に就き四錢九厘の高騰を見

- △白米一等一キロ二二錢
- △同二等同二一錢五五分
- △同三錢一錢△白米一二錢
- △五平麥同六一錢五五分
- △五平麥同六一錢五五分
- △油並一升四錢五五分
- △油並一升四錢五五分
- △一升一〇錢△木炭檜丸
- 一貫匁二八錢△檜割同二

飛行下士官を養成する

優秀なる飛行隊下士官を養成する目的で十一年度の熊谷陸軍飛行學校操縦生徒並に陸軍航空技術學校技術生徒募集、今般發表された前者は修學二年、後者は修學三年後に何れも下士官候補者として飛行隊並に航空隊に夫々所屬し一年後には夫々伍長に任官されるもので將校への前途も充分見込まれるもので志願者資格は飛行學校が満十七才以上十九才まで、航空學校は十五才以上十八才未満者で志願者は陸軍航空本部、熊谷陸軍飛行學校、陸軍航空技術學校、全國各聯隊司令部から志願票の交付を受け所要事項を記入した上戸籍謄本

成績品の賞状

一小學校は今五日朝禮の際過般學藝會と共に行はれた成績品展覽會の賞品並に賞状授與式を行つた

- 鳥茂 前七、三〇 朝の修養「日」
- 婦人の鑑(和宮様の御快淳)
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前二、〇〇 母の講座
- 一家に於ける子供の指導(二)學齡前、兒童の躾け方、高崎能樹
- 後九、〇〇 五、聲合唱
- 後二、〇〇 婦人の時間
- 後八、〇〇 修養「ついで」
- 鳥津治子
- 後五、三〇 爐邊物語「紅花」
- 花「物語」入山不二太
- 後六、〇〇 子供の時間
- 三錢 雜凡同 四錢△砂糖白白々 錢△同赤同
- 一錢 豚、白丸△錢
- △同並同二五錢、牛△同五〇錢△同並同四〇錢

訓盲院を參觀

一小學校本年卒業生九十一名は今五日午前九時より菅波渡邊松本三訓導に引率され石城訓盲院に授業參觀を行つた

渡邊國防婦人

村國防婦人分會幹部外五十餘名は十日茨城縣國分村産業組合を視察の途に上るが向水戸聯隊を見學して軍事思想を涵養すると

繞る解瓦解の謎

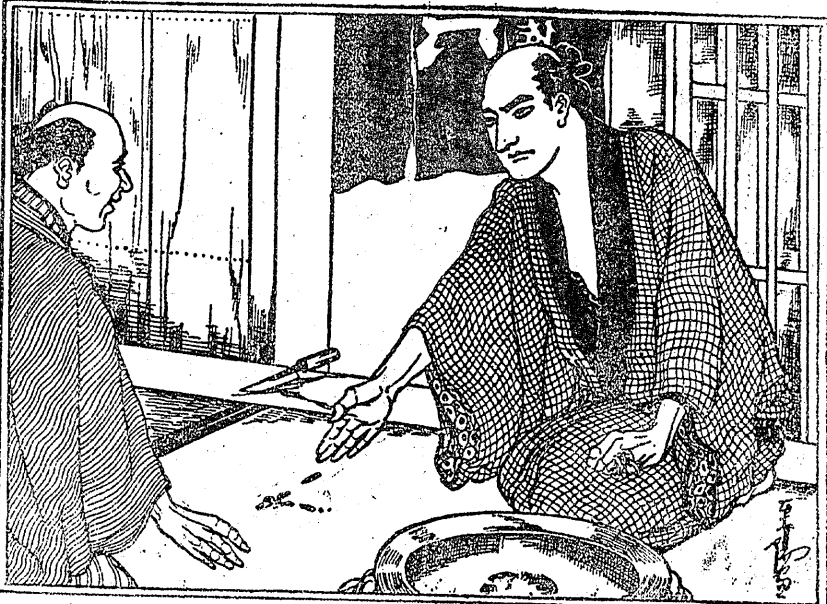
悟道軒圓玉(作)
尾至陽(書)



六百 切つた小指
八百松は鐵火煙草入から
眞鍮のうす張の煙管を出し
て煙草を吸みながら佐野屋
の番頭のいふことを聞いて
ゐたが

松「さすがに佐野屋の支配
人だ、お前の云ふことには
筋が立つてゐるせ、品物を
取つて金を貸すが渡世だか
ら如何に懇意な仲でも持ち
運ぶことの出来ぬ俺の面
で貸すことは出来ぬえ、
しかし他に持つて行けば一
文にもならぬ品物でも、
自身の身に取つて大事なも
のならば五兩貸すといふん
だな」

松「それは大事な物もある
よ、親父からゆづられた
品物で寝た間も放さぬえも
のがあるんだ」
番「それではそれをお預か
り申してお金をお貸し申し
ませう」
松「さうか、それではその
品物をあづけるかな、然し
こいつを質に置いては死ん
だ親父に濟まぬえがくるし
いとまには鼻をもそげ



よし、これならば品物は取
れるだらう」
松は左の手を櫃に乗せて
その鑿切りで小指をブツリ
と切り落した、ガラ／＼と
流れる血潮、番頭はじめ店
の者は驚いた、松は紙を裂
いて血を拭ひ
松「おい番頭さん、これは
俺の身につけてゐる大事な
ものだ、これで五兩貸てく
んねえ」
バラリとそれを投げた
番頭は顔の色を變へてガタ
／＼とふるへてゐる、松は
ニヤリと笑ひ

れば品物を取ることが出来
ねえ、おい小僧さん臺所へ
行つて庖丁を持つて来てく
んな」
いはれて小僧が鑿切を一
挺持つて来た、松はこれを
手に取つて見てゐたが
松「此物は切れさうだな、

松「貸してくれらるだらう
な」
松「飛んだことをなさいま
したな、氷いこといろ／＼
の品物をあつかひましたか
小指を質に取りましたは今
日が初めてでございます」
松「さうだらう、俺も小指

を質に入れたは今日がはじ
めてだ、おい早く貸して
んねえ十二月だぜ、日が短
けえからな」
番「へえ、長まりました
併し松さんその品物は頂き
ますまい」
松「何だ、品物はいらねえ
お前のところは質屋だらう
品物を預からず金を貸し
ては稼業になるめえ、さあ
これを預けて置く、きつと
受出しに来るから大事にし
てくれ、親から貰つた大争
なものだが金故にこの指を
四本半にした、旦那によろ
しく申してくんねえ」
松は小指を預けて五兩持
つて水屋敷に歸つて来た。
この水屋敷は將軍家の飲料
水を蓄へて置くところ、こ
の部屋頭は午旁留、江戸時
代には妙な署名をつけたも
ので、この留といふ人はも
と青物商、それでさういふ
掉名がある、また松も八百

たらちりなべ	三	さしみ御飯	二十五錢
ちりなべ	三	天ぷら御飯	三十錢
あなごなべ	三	海老天ぷら	四十錢
よせなべ	三	海老天ぷら	三十五錢
かきなべ	三	海老天ぷら	三十五錢
ねぎまなべ	三	海老天ぷら	三十五錢
煮込なべ	三	海老天ぷら	三十五錢
鳥なべ	三	海老天ぷら	三十五錢
牛なべ	三	海老天ぷら	三十五錢
豚なべ	三	海老天ぷら	三十五錢
かきフライ	二	親子丼	二十錢
かき酢の物	二	すし	二十錢
あんこも酢	二	ちらし五もく	二十錢
定食	十	御子様すし	二十五錢
一品	五十錢	まぐろすし	二十五錢
二品	八十錢	鐵火丼	二十五錢
三品	八十錢	鐵火卷	二十五錢
四品	八十錢	好たけ卷	二十五錢
五品	八十錢	あなご卷	二十五錢

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

ほねごころ

桑原柔道整骨院

平島園下電話六七四

魚清食堂

出前持大至急入用
福島縣平町二丁目
西村屋藥舖
藥師 鈴木堅助
電話 三番
振替 東京六・二九九
仙臺一・二〇一

是非!

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じ
ます

三井賣店

平・四電六〇六番